



2020.05.02

要らない=捨てない選択肢を。断捨離ついでにチャリティに参加

断捨離ではじめる社会貢献



FRaU 編集部

プロフィール

新型コロナの影響により余儀なくされた“ステイホーム”。誰に遠慮することなく与えられた時間を有効活用しようと、断捨離を始める人が急増しているといえます。そう、時間に余裕のある今こそ不要なモノを手放す絶好のチャンス。でも、だからといってまだまだ使えるものまで捨ててしまいませんか？そこで、不要物を寄付することで、国内外でのリユースをはじめ、開発途上国の貧困を救う活動支援につながるチャリティ団体・サービスをご紹介します。

1口につき5人の命が救える「古着 de ワクチン」

主な支援内容は、南西アジアやアフリカなどで流行しているウイルス「ポリオ」を予防するワクチンの提供。1口3000円（税別）を支払い、不要になった衣類を袋に入れて送ることで、認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」を通じ、1口につき5人分のワクチンを寄付することができます。また、途上国での衣類を仕分ける作業や販売の店舗では現地スタッフ、衣類を入れる専用キットの封入作業では、障害者の方の雇用につながっています。

送ることができるもの：衣類全般、バッグ、靴、服飾小物